

多摩NPOセンターにおける市民活動支援に関するアンケート

集計結果（平成19年11月）

■ ご記入にあたって

1. このアンケートは、多摩市内を主たる事務所の所在地としているNPO法人、多摩NPOセンター利用登録団体、多摩市市民協働登録団体、多摩ボランティアセンター利用登録団体、及び市民活動情報センター登録団体を対象にお送りさせていただきました。お忙しいところ誠に恐れ入りますが、ご協力下さいますようお願いいたします。
2. 各質問について、平成19年度の状況をご記入ください。
3. 質問には、解答欄に該当する番号をご記入いただく質問と、貴団体のご意見などをご記入いただく質問がございますので、質問に沿ってご回答ください。
4. 本アンケートの回答内容は、多摩市市民活動情報センター運営委員会（学識者・市民で構成）へ報告すると共に、平成20年度以降の多摩NPOセンターのあり方を検討する際の参考とさせていただきます。
5. 本アンケートの全回答結果は統計処理し、その結果をご回答いただきました団体へお送りすると共に、「多摩市公式ホームページ」及び「行政・郷土資料コーナー」にて一般公開します。その際には、個別の団体名は公開いたしません。

- このアンケートは、多摩市における「新たな支え合いの仕組みづくり」並びに「新しい公共の担い手の創出」を推進するため、平成20年度以降の「多摩NPOセンター」のあり方の検討に向け、各団体のご意見を伺うものであり、回答の内容により個別団体に対する支援を左右するものではありませんので、予めご了承ください。

※アンケート実施概要

アンケート送付総数	205団体
アンケート回答総数	106団体
アンケート回答率	51.71%

アンケート実施期間 : 平成19年7月24日（金）～8月6日（月）

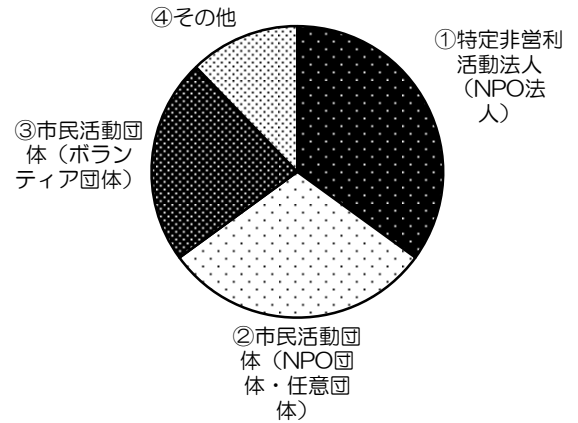
1. 基本事項（団体概要）についての質問

【質問1】貴団体の形態は、次のうちどれに該当しますか。

【一つ選んでご回答ください】

【回答結果】

回 答	回答数	回答率
①特定非営利活動法人（NPO法人）	37	35%
②市民活動団体（NPO団体・任意団体）	32	30%
③市民活動団体（ボランティア団体）	24	23%
④その他（具体回答は以下）	13	12%
総計	106	



【具体回答】

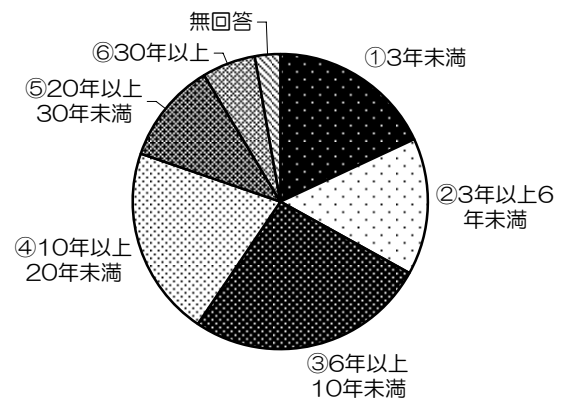
- ・多摩市医師会所属の団体
- ・社団法人
- ・自治会
- ・教職員、学生、OGによる任意団体
- ・パソコン教室
- ・「婦人の友」の愛読者の集まりで、衣・食・住・教育・環境問題などを勉強しながら合理的生活を目標している団体
- ・学校法人
- ・マンション管理組合
- ・文部科学省所管社団法人

【質問2】貴団体は、設立から何年経過していますか。（特定非営利活動法人で、法人設立以前から活動している場合は、その年数も加算して下さい。）

【一つ選んでご回答ください】

【回答結果】

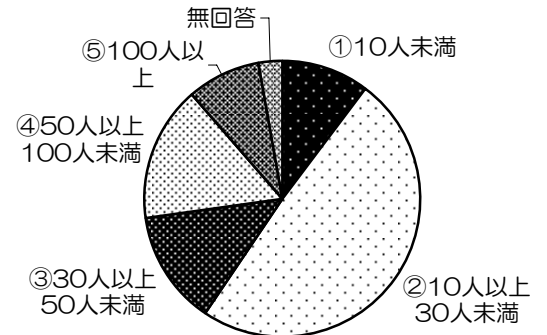
回 答	回答数	回答率
①3年未満	19	18%
②3年以上6年未満	16	15%
③6年以上10年未満	28	26%
④10年以上20年未満	22	21%
⑤20年以上30年未満	12	11%
⑥30年以上	6	6%
無回答	3	3%
総計	106	



【質問3】貴団体の正会員は何人いらっしゃいますか。(会員に、団体や法人が含まれる場合は、①団体(1法人)を1人として計算して下さい。)
【一つ選んでご回答ください】

【回答結果】

回	答	回答数	回答率
①	10人未満	11	10%
②	10人以上30人未満	52	49%
③	30人以上50人未満	14	13%
④	50人以上100人未満	17	16%
⑤	100人以上	9	8%
	無回答	3	3%
総計		106	

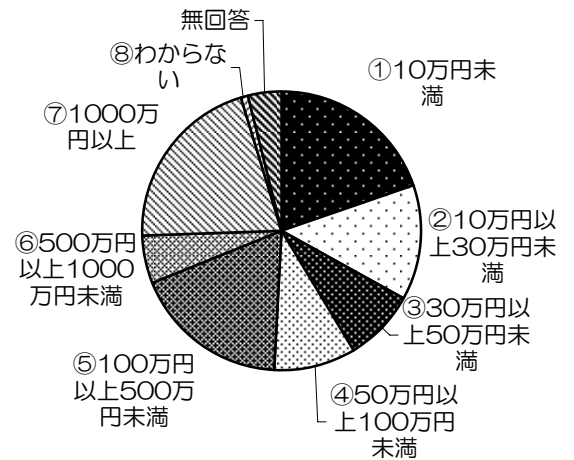


【質問4】貴団体の平成19年度の事業や活動にかかる、1年間の予算額はいくらぐらいですか。

【回答結果】

回	答	回答数	回答率
①	10万円未満	21	20%
②	10万円以上30万円未満	14	13%
③	30万円以上50万円未満	9	8%
④	50万円以上100万円未満	10	9%
⑤	100万円以上500万円未満	19	18%
⑥	500万円以上1000万円未満	6	6%
⑦	1000万円以上	22	21%
⑧	わからない	1	1%
	無回答	4	4%
総計		106	

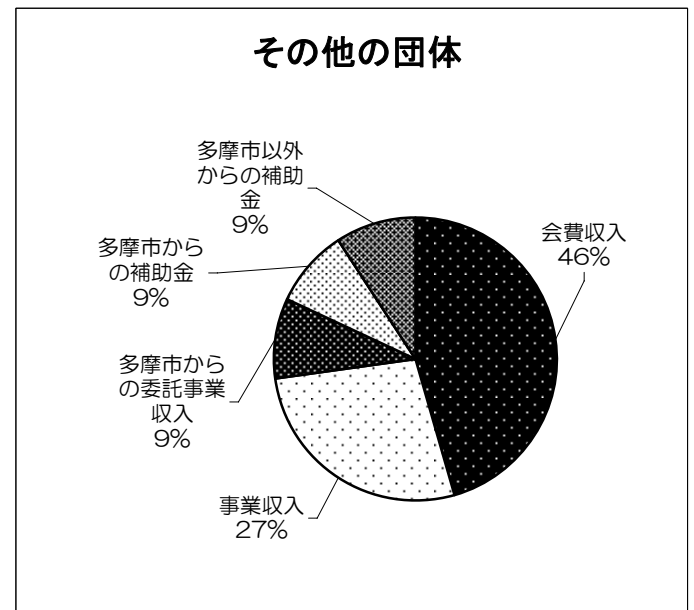
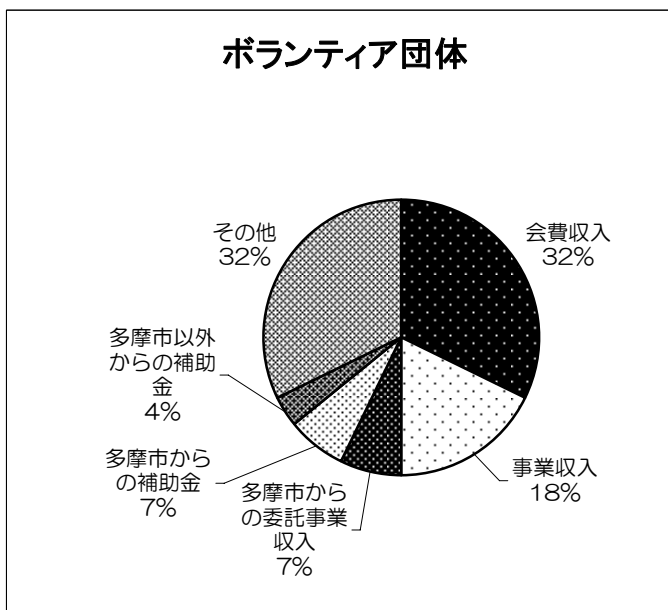
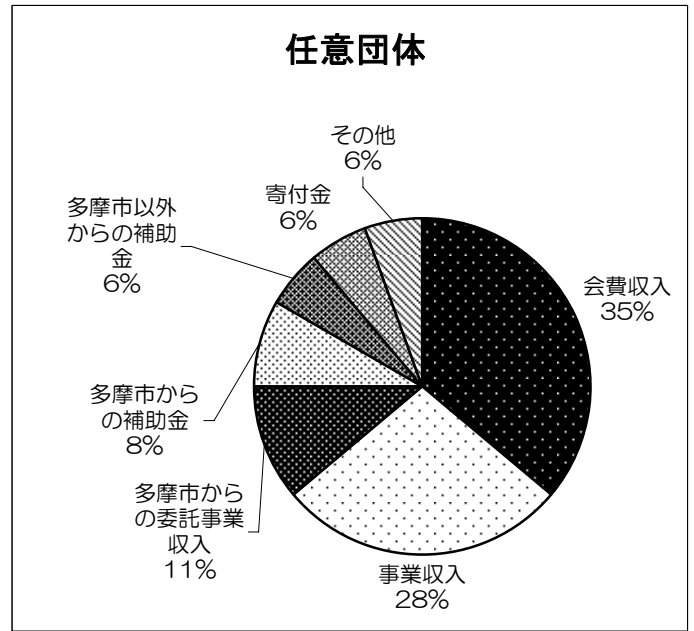
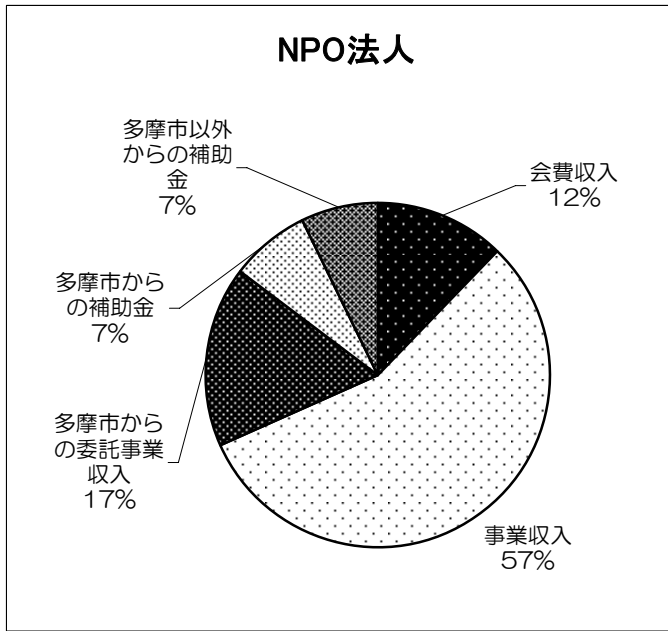
【一つ選んでご回答ください】



【質問5】貴団体の平成19年度の主な財源(収入)と経費(支出)について、次の項目ごとに割合をご記入ください。(該当しない項目は、未記入で結構です。)

財源(収入)の部

* 団体種別による財源の傾向 *

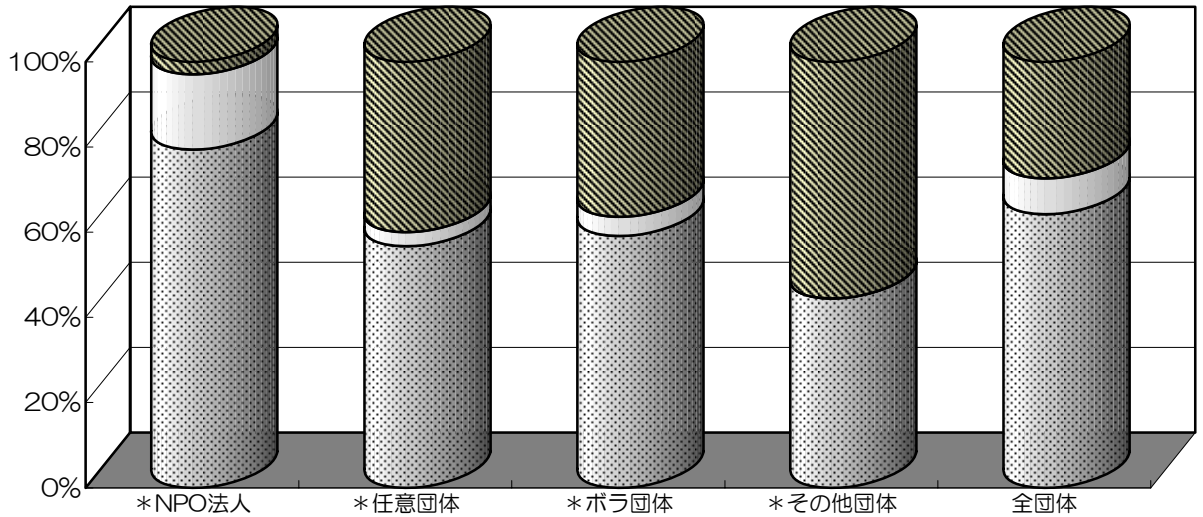


①会費収入(分担金を含む)の割合

【収入の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	27	77%	17	57%	13	59%	4	44%	61	64%
・3割以上6割未満	6	17%	1	3%	1	5%	0	0%	8	8%
・6割以上	1	3%	12	40%	8	36%	5	56%	26	27%
無回答	3	9%	2	7%	2	9%	4	44%	11	11%
計	35	100%	30	100%	22	100%	9	100%	96	110%

会費収入(分担金を含む)の割合



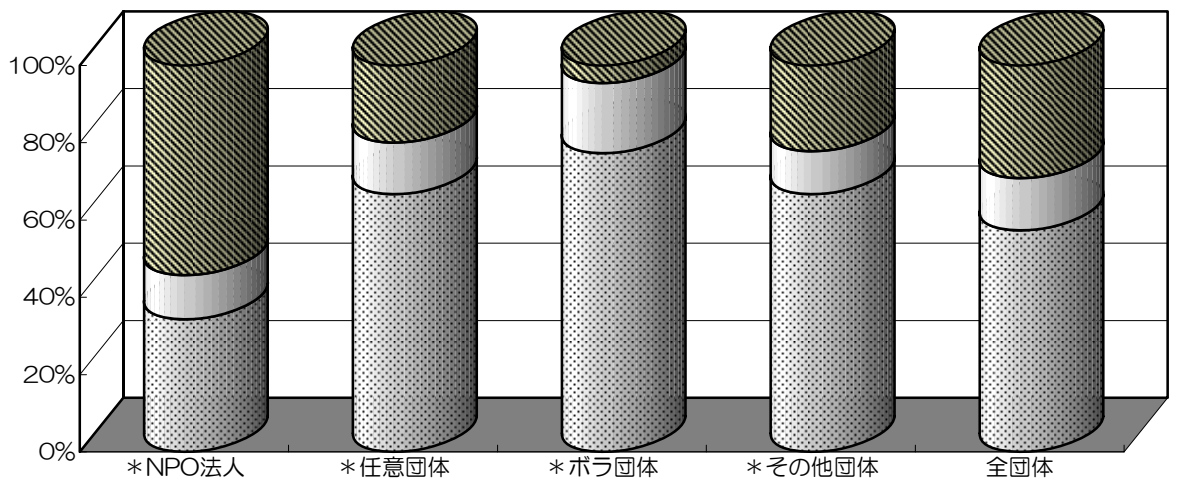
・3割未満
 ・3割以上6割未満
 ・6割以上

②事業収入(事業の受託金、参加収入など)の割合

【収入の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	12	34%	20	67%	17	77%	6	67%	55	57%
・3割以上6割未満	4	11%	4	13%	4	18%	1	11%	13	14%
・6割以上	19	54%	6	20%	1	5%	2	22%	28	29%
無回答	2	6%	2	7%	2	9%	4	44%	10	10%
計	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	110%

事業収入の割合



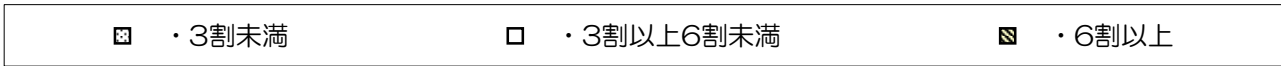
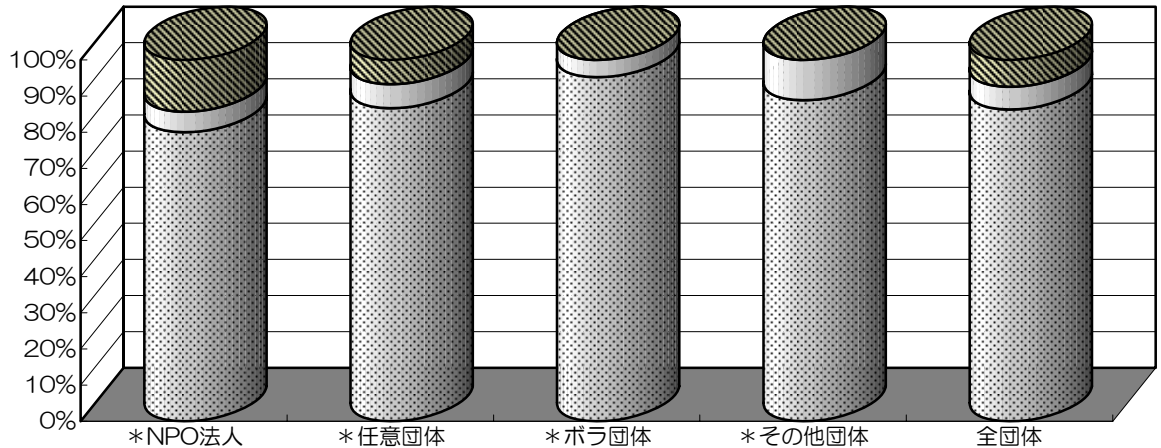
・3割未満
 ・3割以上6割未満
 ・6割以上

③多摩市からの委託事業収入の割合

【収入の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	28	80%	26	87%	20	91%	8	89%	82	85%
・3割以上6割未満	2	6%	2	7%	1	5%	1	11%	6	6%
・6割以上	5	14%	2	7%	0	0%	0	0%	7	7%
無回答	2	6%	2	7%	3	14%	4	44%	11	11%
計	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	110%

多摩市からの委託事業収入の割合

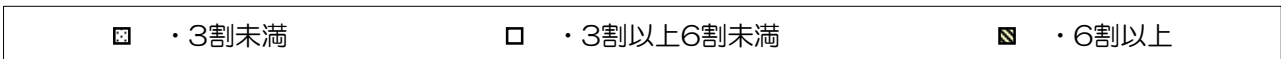
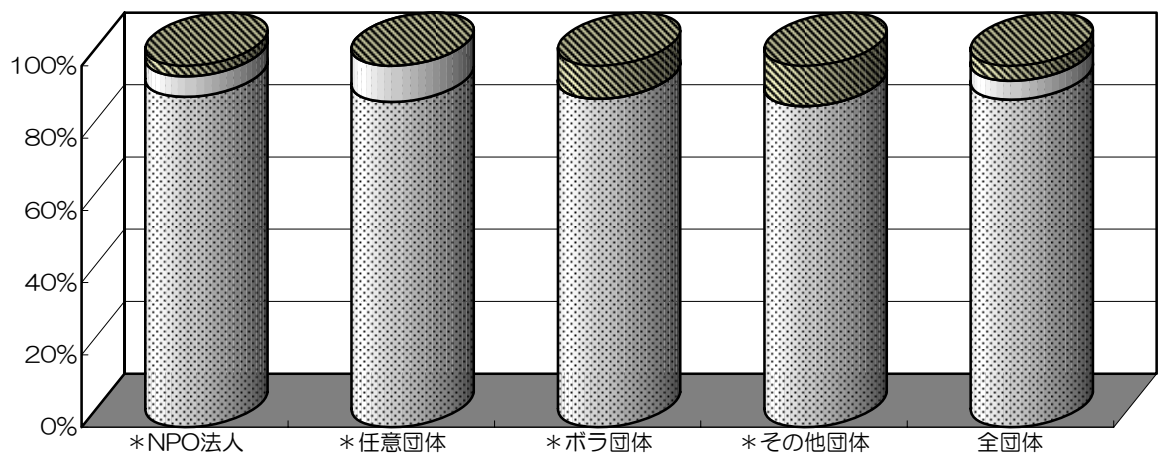


④多摩市からの補助金収入の割合

【収入の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	32	91%	27	90%	20	91%	8	89%	87	91%
・3割以上6割未満	2	6%	3	10%	0	0%	0	0%	5	5%
・6割以上	1	3%	0	0%	2	9%	1	11%	4	4%
無回答	2	6%	2	7%	2	9%	4	44%	10	10%
計	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	110%

多摩市からの補助金収入の割合

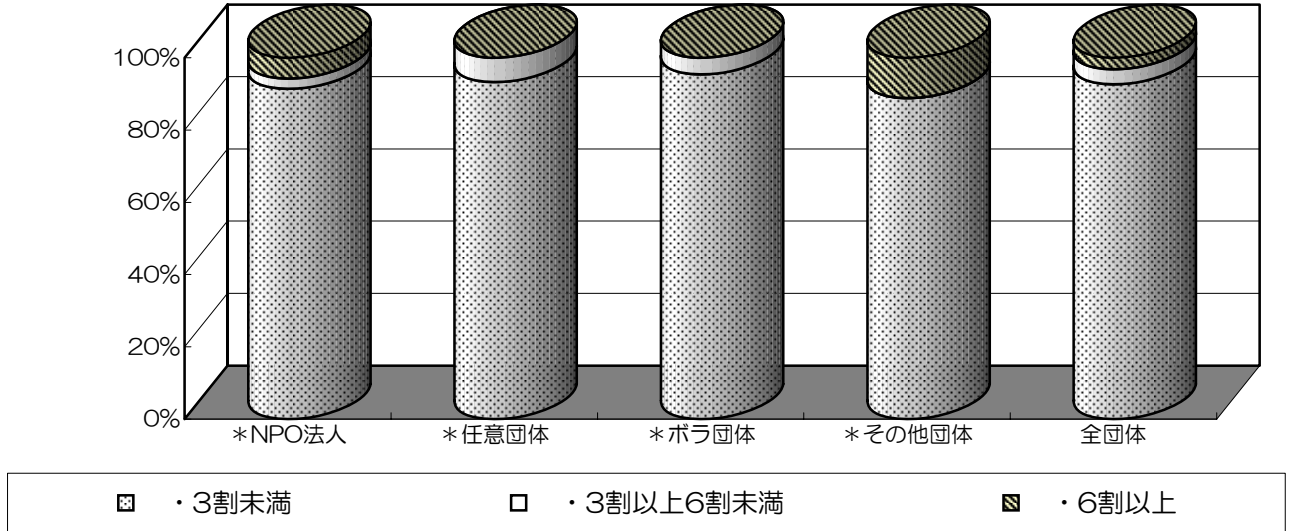


⑤多摩市以外からの補助金(国・都・その他民間財団など)収入の割合

【収入の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	32	91%	28	93%	21	95%	8	89%	89	93%
・3割以上6割未満	1	3%	2	7%	1	5%	0	0%	4	4%
・6割以上	2	6%	0	0%	0	0%	1	11%	3	3%
無回答	2	6%	2	7%	2	9%	4	44%	10	10%
計	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	110%

多摩市以外からの補助金収入の割合

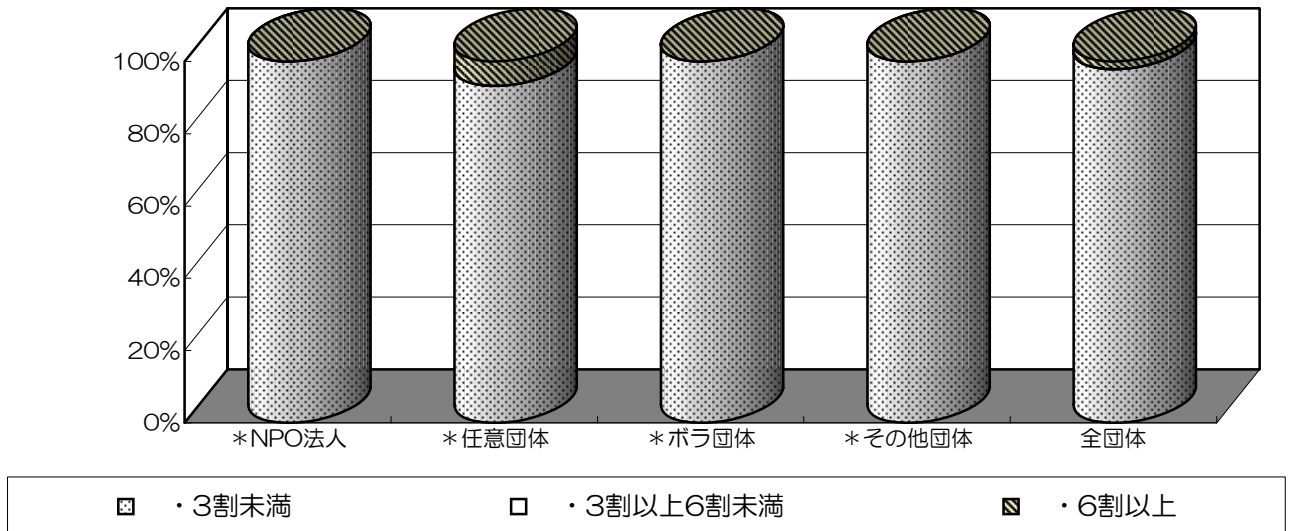


⑥寄付金収入の割合

【収入の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	35	100%	28	93%	22	100%	9	100%	94	98%
・3割以上6割未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
・6割以上	0	0%	2	7%	0	0%	0	0%	2	2%
無回答	2	6%	2	7%	2	9%	4	44%	10	10%
計	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	110%

寄付金収入の割合

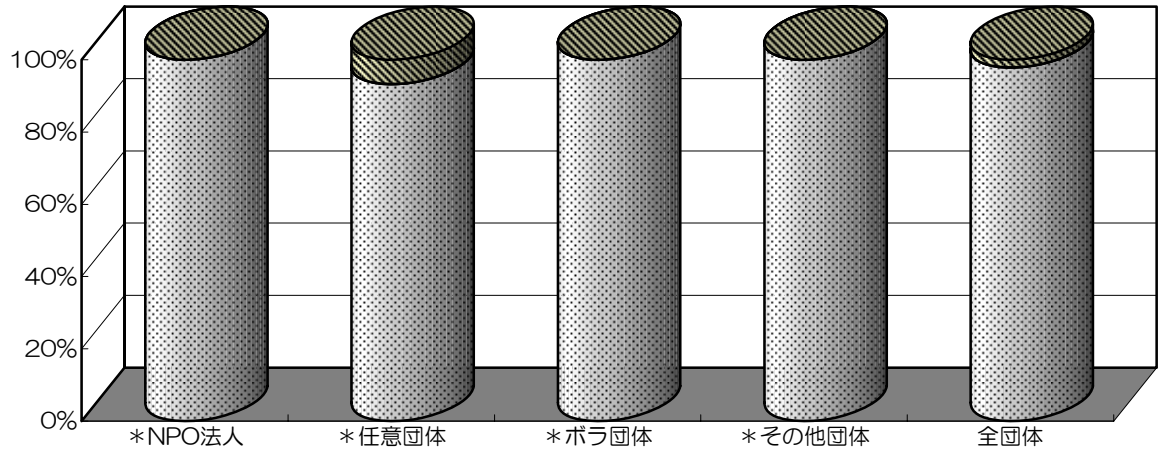


⑦その他収入の割合

【収入の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	35	100%	28	93%	22	100%	9	100%	94	98%
・3割以上6割未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
・6割以上	0	0%	2	7%	0	0%	0	0%	2	2%
無回答	2	6%	2	7%	2	9%	4	44%	10	10%
計	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	110%

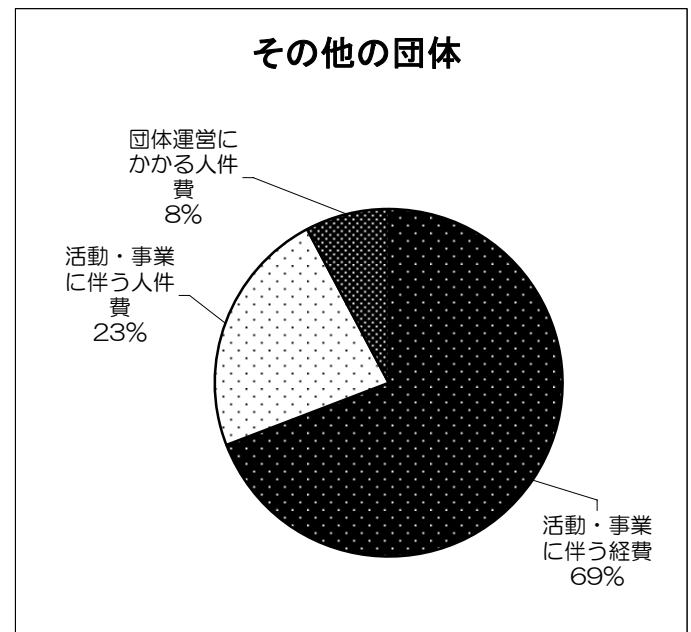
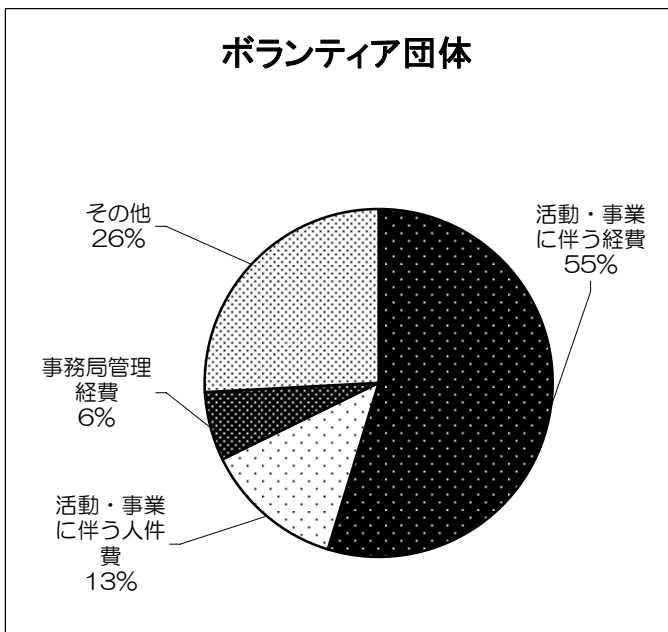
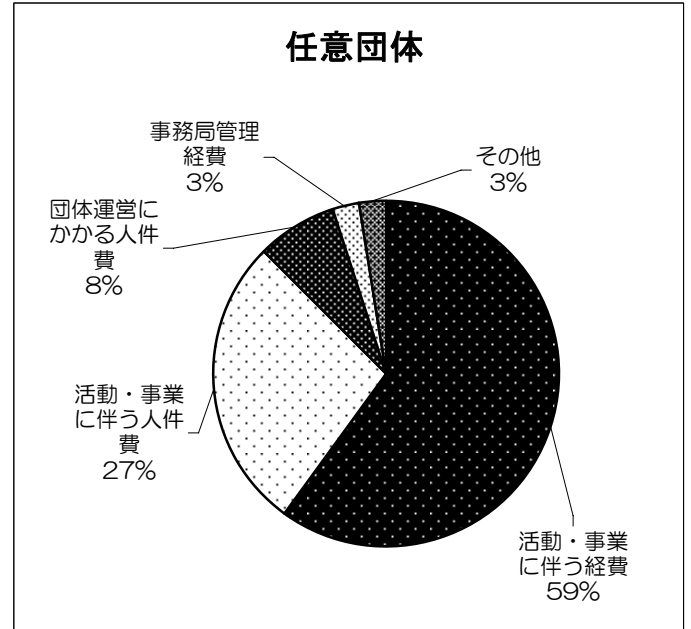
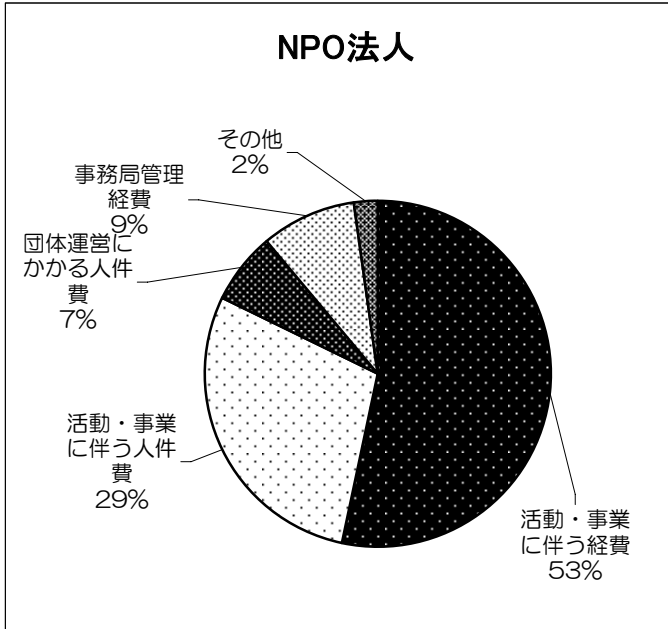
その他収入の割合



■	・3割未満	□	・3割以上6割未満	■	・6割以上
---	-------	---	-----------	---	-------

経費（支出）の部

* 団体種別による支出の傾向 *

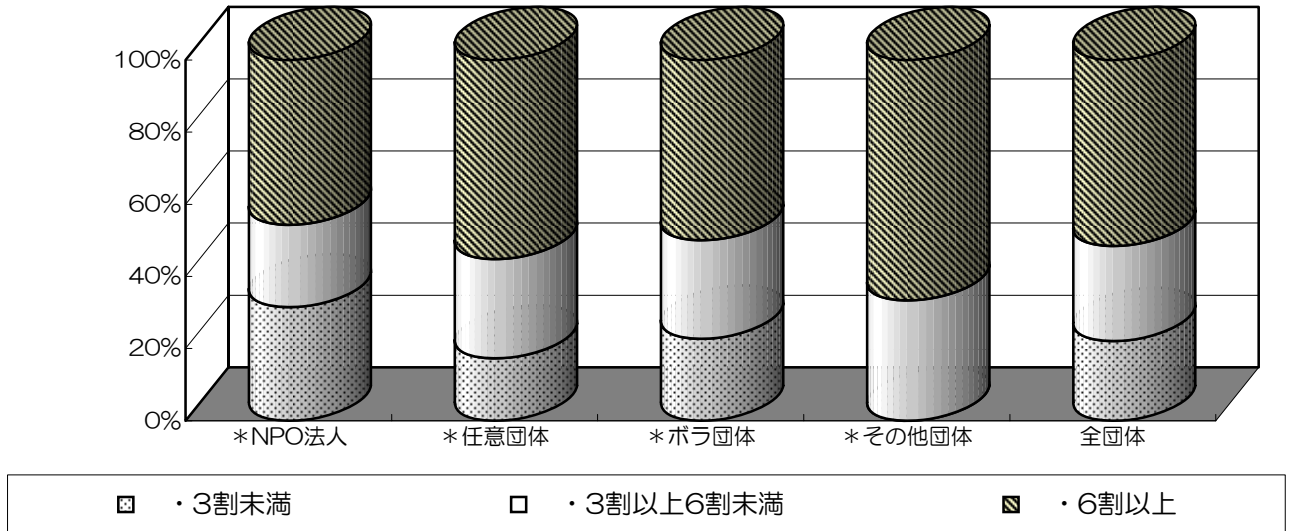


①活動・事業に伴う経費(人件費を除く)の割合

【支出の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	11	31%	5	17%	5	23%	0	0%	21	22%
・3割以上6割未満	8	23%	8	27%	6	27%	3	33%	25	26%
・6割以上	16	46%	16	53%	11	50%	6	67%	49	51%
無回答	2	6%	3	10%	2	9%	4	44%	11	11%
計	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	110%

活動・事業に伴う経費の割合

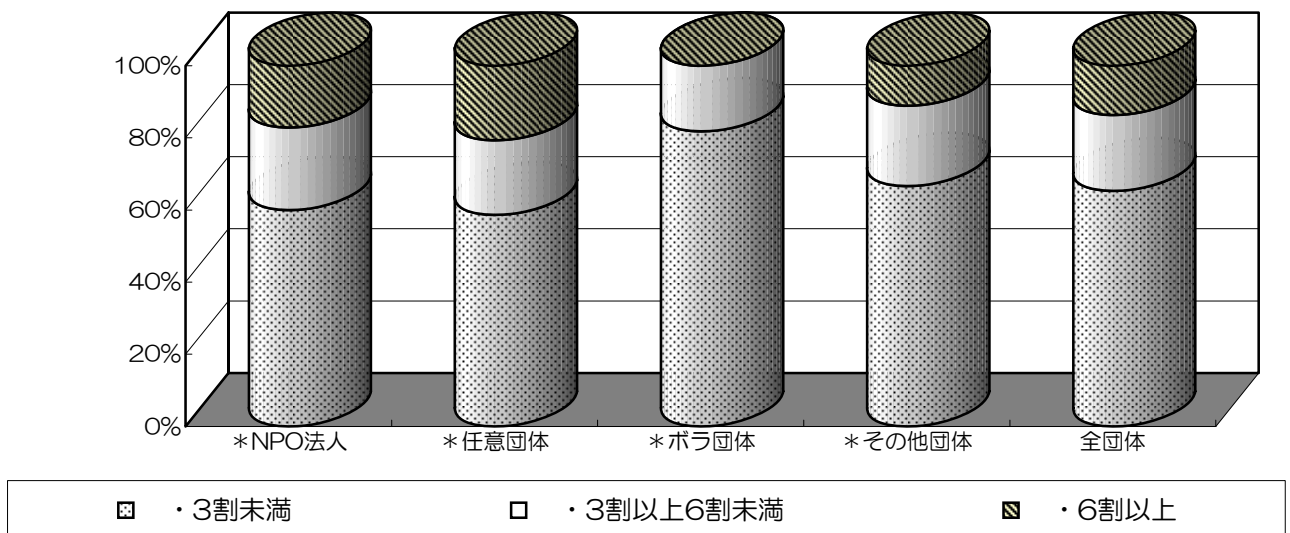


②活動・事業に伴う人件費の割合

【支出の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	21	60%	17	57%	18	82%	6	67%	62	65%
・3割以上6割未満	8	23%	6	20%	4	18%	2	22%	20	21%
・6割以上	6	17%	6	20%	0	0%	1	11%	13	14%
無回答	2	6%	3	10%	2	9%	4	44%	11	11%
計	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	110%

活動・事業に伴う人件費の割合

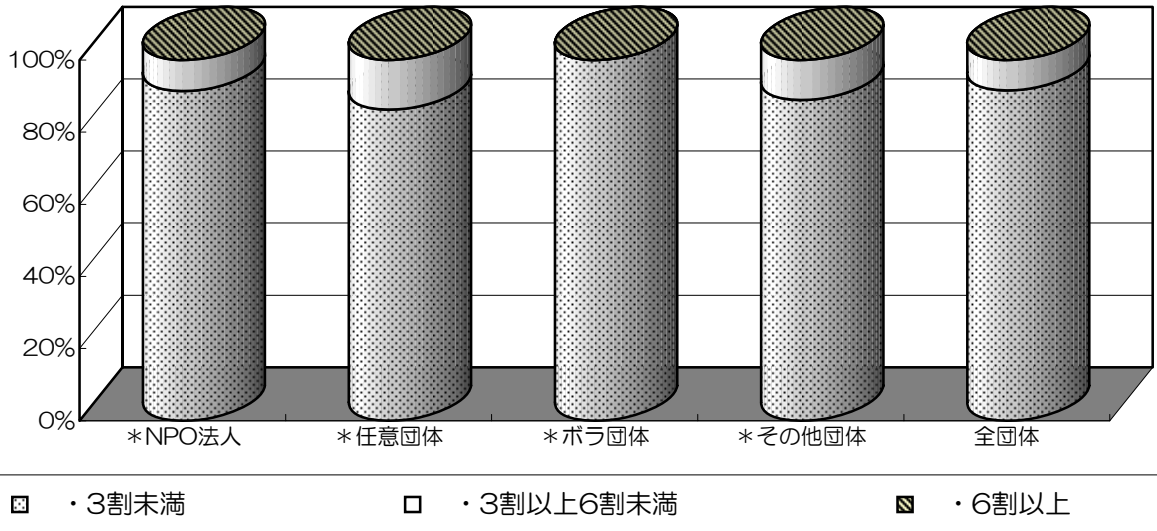


③ 団体運営にかかる人件費の割合

【支出の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	32	91%	25	83%	22	100%	8	89%	87	91%
・3割以上6割未満	3	9%	4	13%	0	0%	1	11%	8	8%
・6割以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	2	6%	3	10%	2	9%	4	44%	11	11%
計	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	110%

団体運営にかかる人件費の割合

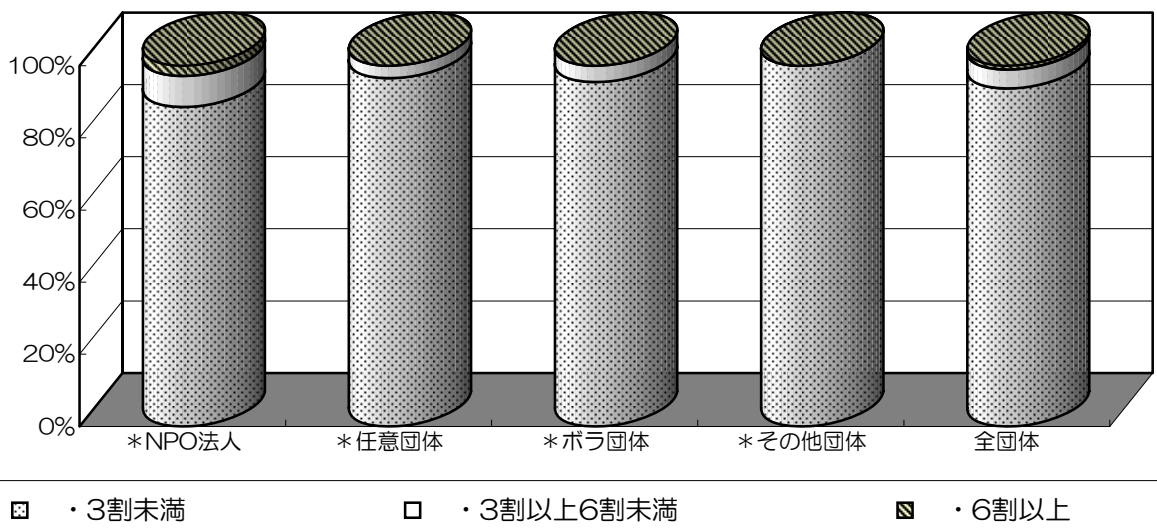


④ 事務局管理費(家賃・光熱水費)の割合

【支出の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	31	89%	28	93%	21	95%	9	100%	89	93%
・3割以上6割未満	3	9%	1	3%	1	5%	0	0%	5	5%
・6割以上	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
無回答	2	6%	3	10%	2	9%	4	44%	11	11%
計	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	110%

事務局管理費の割合

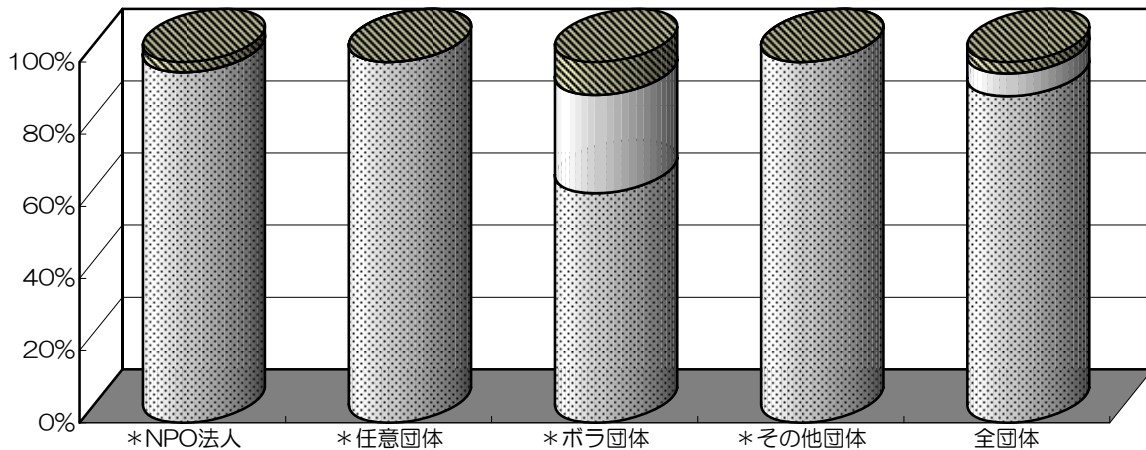


⑤その他経費の割合

【支出の部】

団体の財源に占める割合	*NPO法人		*任意団体		*ボランティア団体		*その他の団体		全団体	
	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合	団体数	割合
・3割未満	34	97%	29	97%	14	64%	9	100%	86	90%
・3割以上6割未満	0	0%	0	0%	6	27%	0	0%	6	6%
・6割以上	1	3%	0	0%	2	9%	0	0%	3	3%
無回答	2	6%	3	10%	2	9%	4	44%	11	11%
計	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	110%

その他経費の割合

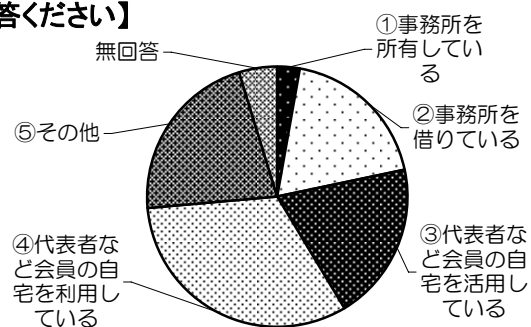


【質問6】貴団体の主たる事務所の所在地はどのような形態でお持ちですか。

【一つ選んでご回答ください】

【回答結果】

回 答	回答数	回答率
①事務所を所有している（団体所有財産）	3	3%
②事務所を借りている（賃貸借契約）	20	19%
③代表者等の自宅を実際に活用している	21	20%
④代表者等の自宅を名義のみ利用している	34	32%
⑤その他（具体回答は以下）	23	22%
無回答	5	5%
総計	106	



【具体回答】

* NPO法人	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内 ・会員の会社に居候 ・多摩市行政財産使用許可をいただいている ・母体である事務所に同居
----------------	--

* 任意団体	<ul style="list-style-type: none"> ・共同事務所として借り、シェアしている ・代表者の勤務先、但し賃貸借契約なし ・市施設（複合施設）を利用している ・コミュニティセンターを利用
---------------	--

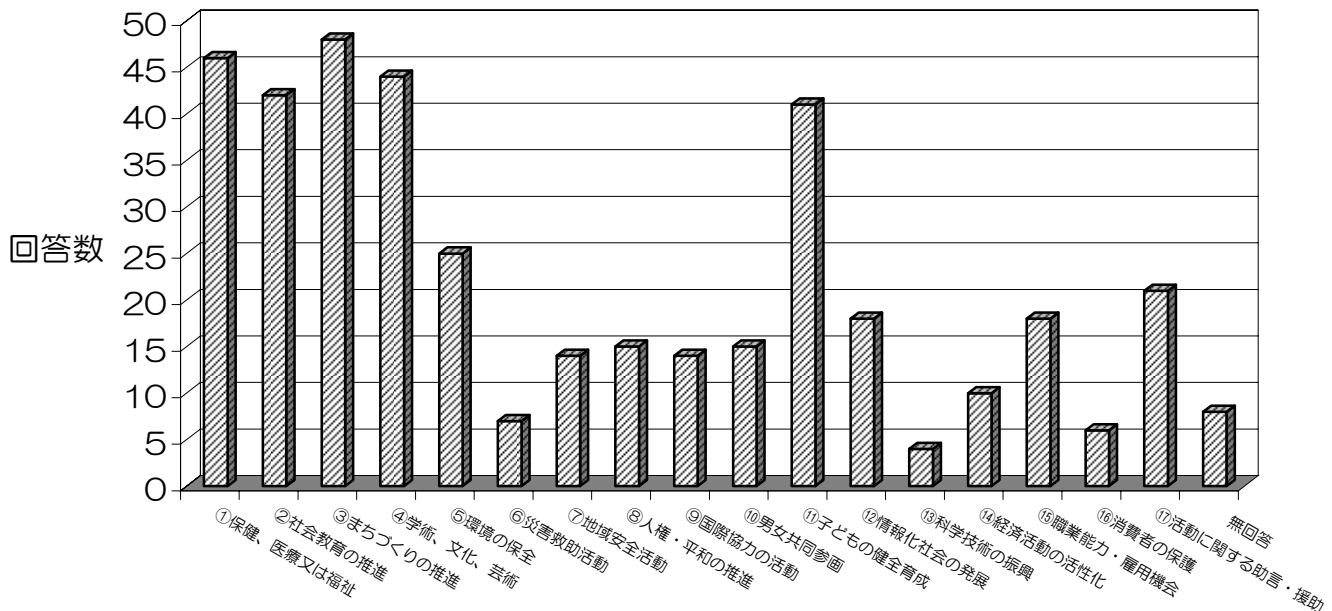
* ボランティア団体	<ul style="list-style-type: none"> ・東永山ボランティアセンター内施設利用 ・事務所はなし ・ボランティアセンター永山分室を利用 ・ボランティアで声がかかった時集まるだけ ・事務所なし ・永山分室 ・多摩ボランティアセンター ・ボランティアセンターとしている ・ボランティアセンター ・公共施設を借りている
-------------------	--

* その他の団体	<ul style="list-style-type: none"> ・民間所有の施設で事務局を務めている ・市所有の自治会館を管理運営（自治会） ・事務所を無料で契約もせず大学においている ・メール ・公共の施設又は会員の自宅
-----------------	---

【質問7】貴団体の活動で当てはまるものすべてに○をつけて下さい。【複数回答可】

【回答結果】

回 答	回答数	回答率
①保健、医療又は福祉の増進を図る活動	46	12%
②社会教育の推進を図る活動	42	11%
③まちづくりの推進を図る活動	48	12%
④学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	44	11%
⑤環境の保全を図る活動	25	6%
⑥災害救助活動	7	2%
⑦地域安全活動	14	4%
⑧人権の擁護又は平和の推進を図る活動	15	4%
⑨国際協力の活動	14	4%
⑩男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	15	4%
⑪子どもの健全育成を図る活動	41	10%
⑫情報化社会の発展を図る活動	18	5%
⑬科学技術の振興を図る活動	4	1%
⑭経済活動の活性化を図る活動	10	3%
⑮職業能力の開発又は雇用機会の拡充を図る活動	18	5%
⑯消費者の保護を図る活動	6	2%
⑰以上の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	21	5%
無回答	8	2%
総計	396	



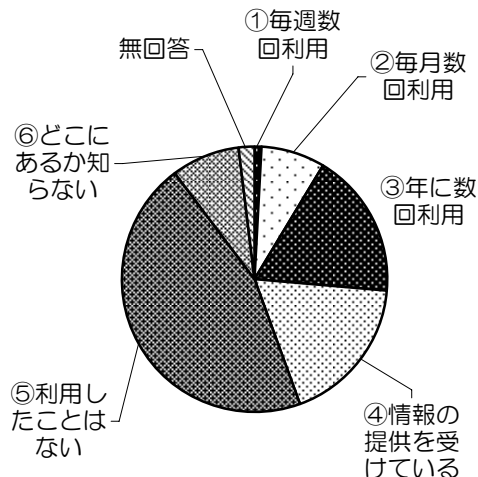
2. 中間支援センターとしてのNPOセンター機能について

【質問8】多摩 NPO センターは、西永山複合施設(旧西永山中学校跡地)2階で、市民活動団体(主にNPO組織)を対象にした支援事業を行っていますが、貴団体は多摩NPOセンターをどれくらい利用されていますか。

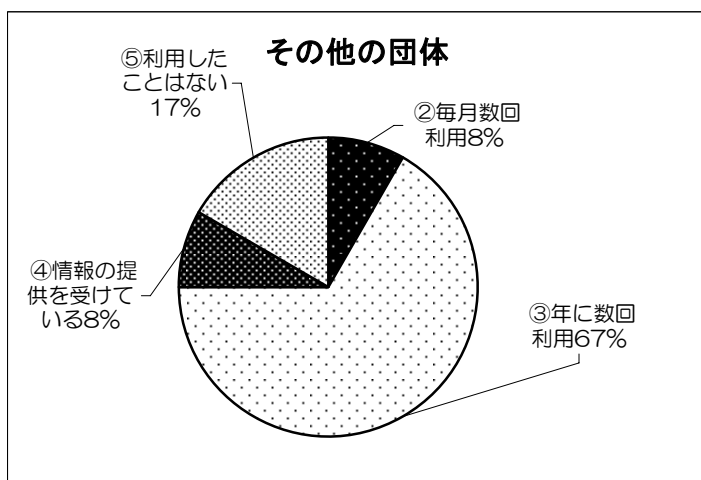
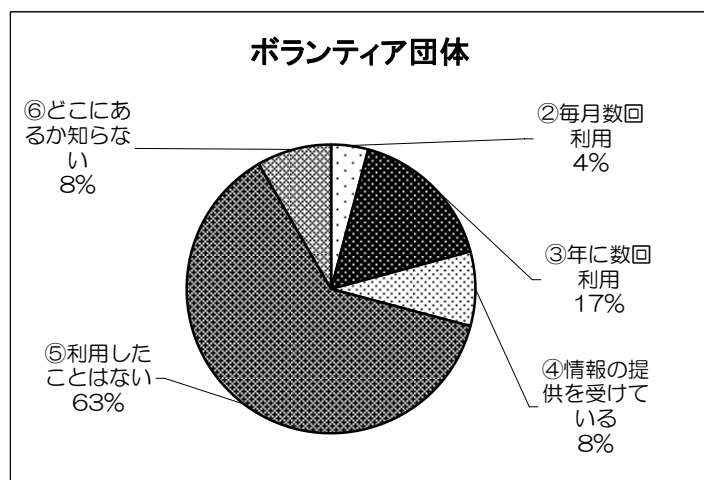
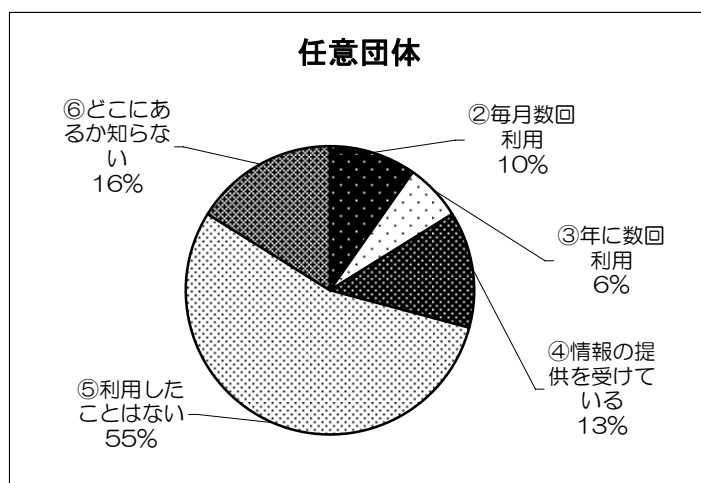
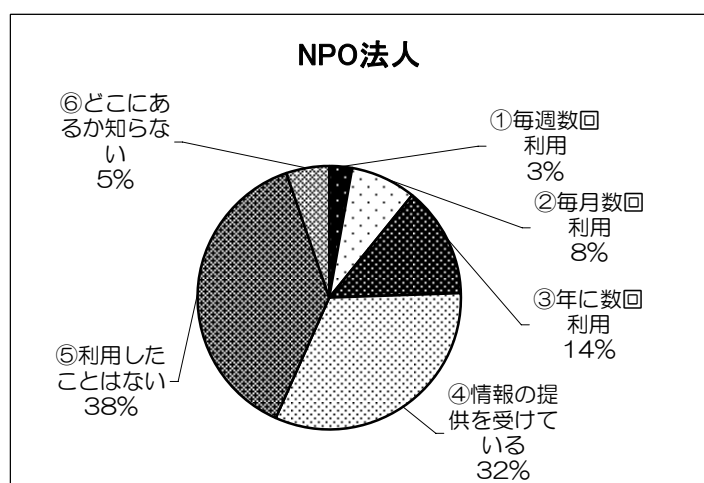
【回答結果】

【一つ選んでご回答ください】

回 答	回答数	回答率
①毎週数回利用している	1	1%
②毎月数回利用している	8	8%
③年に数回利用している	19	18%
④ニュースレターなどで情報の提供を受けている。	19	18%
⑤NPOセンターは知っているが利用したことはない。	48	45%
⑥NPOセンターがどこにあるか知らない。	9	8%
無回答	2	2%
総計	106	



* 団体種別による傾向 *

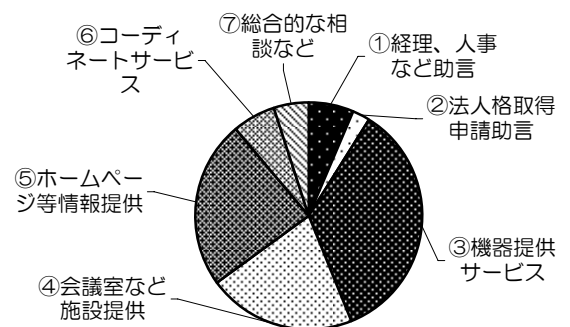


【質問9】現在多摩 NPO センターで提供しているサービスのうち、利用したことのあるサービスは何ですか。
【主なものを3つ選んでご回答ください】

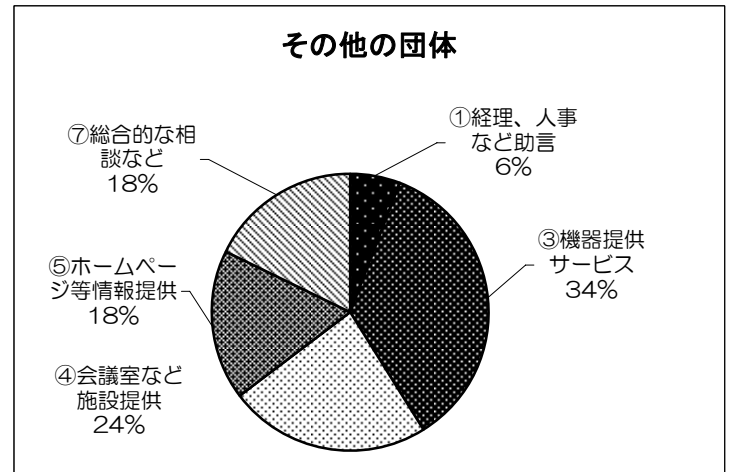
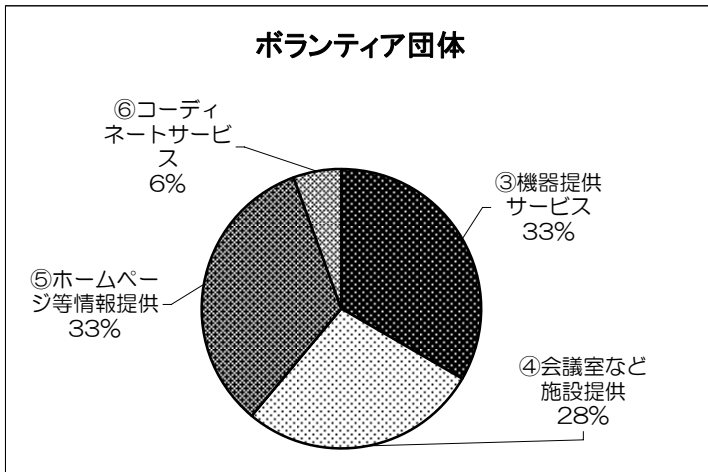
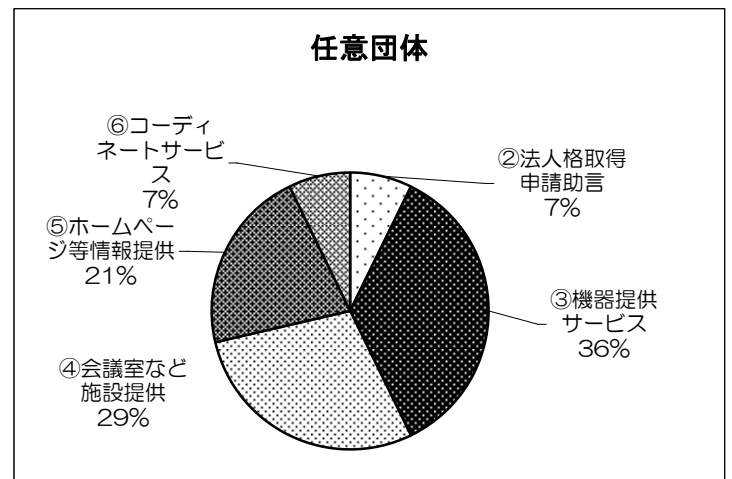
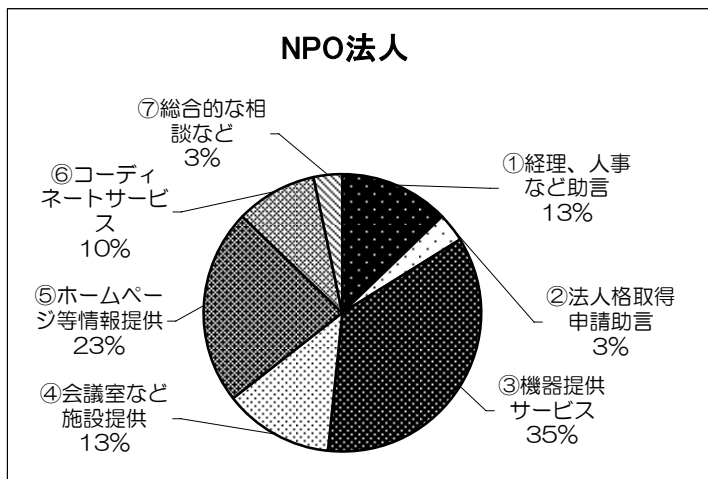
【回答結果】

回 答	回答数	回答率
①団体運営に際し、企画運営、経理、人事などに関する助言	5	4%
②NPO法人各取得申請に関する助言	2	1%
③コピー機、印刷機、プロジェクターなどの機器提供サービス	28	20%
④会議室やパソコンルームなどの施設提供	17	12%
⑤NPOセンターのホームページ等を通じた情報提供	19	13%
⑥行政や他のNPO団体とのコーディネートサービス	5	4%
⑦その他総合的な相談など	4	3%
無回答(3つ選択しなかった分も含む)	61	43%
総計	141	

※質問8で①～④の回答をした団体(3つ選択できる)



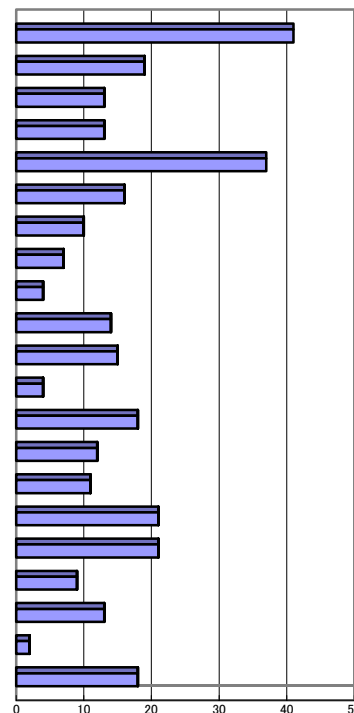
* 団体種別による傾向 *



【質問10】貴団体として、多摩 NPO センターで提供(充実)して欲しいサービスについて、優先順位の高いものから5つ番号を選んで下さい。

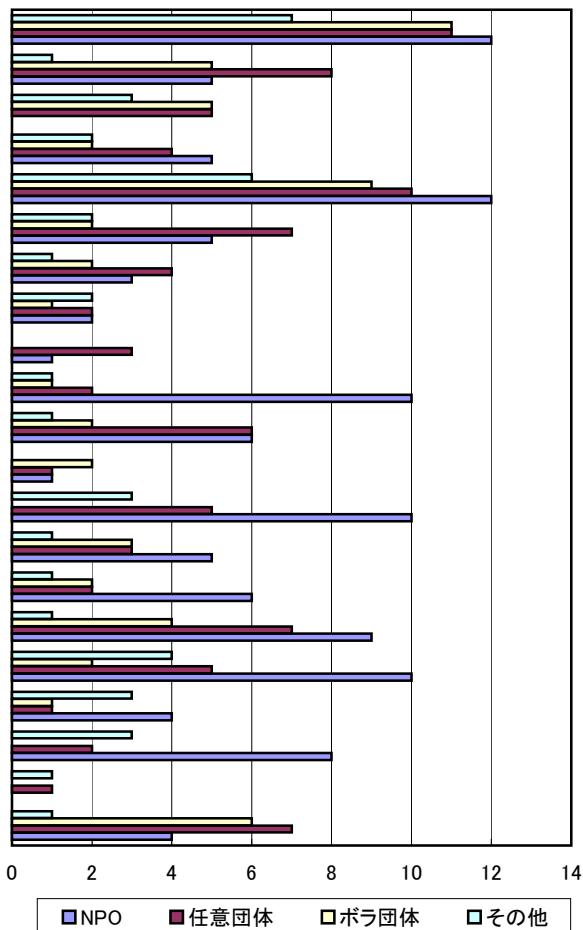
【回答結果】

回 答	回答数	回答率
①会議室・研修室及び作業室としての場の提供	41	8%
②共同で利用できる情報交換の場の提供	19	4%
③団体用ロッカー・ポストの提供	13	2%
④貸事務所としての場の提供	13	2%
⑤印刷機器、コピー機、パソコンなど共同利用できる事務機器の提供	37	7%
⑥NPO関係の情報誌などの発行	16	3%
⑦NPO関係の文献・情報誌等の図書館的機能	10	2%
⑧NPO関係の情報誌の収集	7	1%
⑨NPOの立上げ相談	4	1%
⑩マネージメント相談	14	3%
⑪ファンドレイズの相談	15	3%
⑫プランニングの相談	4	1%
⑬総合的なコンサルティング	18	3%
⑭多摩NPOセンターホームページの運営	12	2%
⑮各地域NPO支援センターとの連携	11	2%
⑯行政・企業との連携	21	4%
⑰NPO運営で必要となる人事育成・研修機能	21	4%
⑱専門家データベースの作成	9	2%
⑲国・自治体への製作提案	13	2%
⑳NPO関連の調査等	2	0%
㉑フォーラム等の開催・実施	18	3%
無回答	207	39%
総計	525	



* 団体種別による傾向 *

回 答
①会議室・研修室及び作業室としての場の提供
②共同で利用できる情報交換の場の提供
③団体用ロッカー・ポストの提供
④貸事務所としての場の提供
⑤印刷機器、コピー機、パソコンなど共同利用できる事務機器の提供
⑥NPO関係の情報誌などの発行
⑦NPO関係の文献・情報誌等の図書館的機能
⑧NPO関係の情報誌の収集
⑨NPOの立上げ相談
⑩マネージメント相談
⑪ファンドレイズの相談
⑫プランニングの相談
⑬総合的なコンサルティング
⑭多摩NPOセンターホームページの運営
⑮各地域NPO支援センターとの連携
⑯行政・企業との連携
⑰NPO運営で必要となる人事育成・研修機能
⑱専門家データベースの作成
⑲国・自治体への製作提案
⑳NPO関連の調査等
㉑フォーラム等の開催・実施
無回答
総計



【質問11】質問10にある①～④までの機能以外で、必要であると考えている機能がありましたら、具体的にご記入ください。

【回答結果】

* NPO法人	<ul style="list-style-type: none">・パソコンのバージョンをVISTAにする方向で考えて下さると助かります。・一般市民への広報活動（NPOの活動内容を一般の市民に理解してもらい広く参加を募る）・土・日の会議室の貸し出し・税務と経理相談・多摩市内の福祉の団体のネットワーク・時間外、土日等の自由な部屋の利用（登録制でも良い）・ライフプランや福祉相談も含めた電話相談室、お困りごと何でも相談所的機能・NPOの立上げ相談などに行ったことはあったが、具体的に役に立つようなことは無かった。自分達で動くしかなかったので、NPOセンターの必要性を感じていない。・活動の場の仲介（情報交換の場の提供だけでなく紹介まで）
* 任意団体	<ul style="list-style-type: none">・質問7の分野でNPOとして就業可能な行政補助業務を出来るだけ多く抽出し、委託提供していただく体制を構築して頂きたい・他団体交流会、互いに協力し合う体制・市の職員の意識改革<ul style="list-style-type: none">①市民・住民が顧客であるという意識が薄い②市民と心を開いて、未来の「まち」のあり方について語りあって欲しい。心を開くとは、お互い前向きに語りあうこと。③多様な市民活動の中の一つに参加し実態を知るなど。・多摩市内及び近隣にある市民活動団体のネットワークづくりのコーディネート
* ボランティア団体	<ul style="list-style-type: none">・機能の充実・多摩テニス連盟との連携、TICとの協力、多摩市のテニス施設提供等の協力・自主研修を考えているが、資金面、人材面で考慮している。情報の提供を求めたい・国際会議ができる同時通訳機の設置
* その他の団体	<ul style="list-style-type: none">・芸術文化活動では、舞台上で使用する装置や器材を独自で製作する団体が多いのですが、使用後の処理が一番の課題です。衣装なども使い回しを考えた団体相互のネットワークシステムの構築が望まれます。経費の節約とも関連して、どこかに大道具、小道具、衣装の集積と保管場所を設けて下さい。ネットで公開し、一定の貸出料を設定して「公の使い回しシステム」を設定する又はそのようなNPOを立上げることも視野に検討中です。・行政・企業との連携のほか、学校との連携も視野に入れて欲しい・椅子が重たいので何とかしていただきたい・始まりの受付を9：30にさせていただきたい・インターンシップの派遣先（いつもご協力頂きありがとうございます）

【質問12】質問10にある①～④までの機能の中で、貴団体が現在実施していたり、今後実施できると考えるものがありましたら、具体的にご記入ください。

【回答結果】

<p>* NPO法人</p>	<ul style="list-style-type: none">・工房として（主たる事務所以外に）農家を借りて、染色、CAD、縫製、パソコン等の器材を設置しているので、研修、作業の場として提供できる。また、指導者もいるので学習の場としても提供できる。（現在大学で指導している）※指導者を派遣できる。近隣の工場（八王子等）とも連携がとれる。・NPOの立上げ相談（法人格取得相談を含む）・NPO運営で必要となる人材育成・研修機能（福祉有償運送に必要な研修について）・かなりの部分は可能・情報の収集・提供機能（情報公開と高齢者情報、ニュースレター、世代間交流の情報ホームページの開設・自分たちの活動に必要なときは、他の人を介してよりも直接に話をしたほうが分かりやすいので、今までは自分達で活動したりしている。
<p>* 任意団体</p>	<ul style="list-style-type: none">・当協会は、任意団体からNPO法人化に向けて準備しているところです。特にNPOの立上げや総合コンサルティングについて、お力をお借りできればと望んでいます。・資金提供（融資）、専門家の紹介・パソコンやプロジェクトが完備されている第1パソコンルームを借用し、地域の特に中高齢者を対象としたパソコン教室を開講し、ITの普及に努めている・フォーラム等の開催・実施・会議室・研修室及び作業室としての場の提供・情報交換の場の提供・行政・企業との協働・行政との連携・現在私たちが持っている“冒険遊び場”に関する資料・書籍を貸し出すことができます。
<p>* ボランティア団体</p>	<ul style="list-style-type: none">・行政、企業と連携して地域環境の良好な保全を図るために側面より支援していただければと思います。・その他として講演会、勉強会など・プロジェクターの貸出等市の不要となった機器の所有と提供を（例：OHP）・フォーラム等の開催・実施・現在、多摩ボランティアセンターで「活動の場・設備の提供機能」は総て足りている。・多摩国際親善テニス大会とBBQ（2006年11月実施済み、2007年11月も計画中）・グループの性格上、待ちの体制をいかに維持していくか・・・知恵をお借りしたい・活動状況の効果的なPR方法についてご教示いただきたい・海外の女性団体との交流情報の提供
<p>* その他の団体</p>	<ul style="list-style-type: none">・ネットワーク作り⇒南多摩保健所、歯科医師会との連携・国・自治体への政策提案⇒胃ろうに関するセーフティーネットワークと人材育成について・セミナー（市民参加の）実施「栄養剤の選び方」「胃ろうの造設・管理」「嚥下・口腔ケア」・自治体への政策提言（19年度当自治会として、CO2の縮減の取り組みとして“自動車に乗らないで歩こう”運動を展開しています。是非この運動を定着させ市全体で取り組めるよう提言していきたいと考えています。・私たちの団体というより大学としてはボランティア活動、NPO・NGO論などの専門家が多いので、人材育成・研修などでお力になれると思います。

【質問13】質問10にある①～④までの機能のほかに、今後多摩NPOセンター或いは他の中間支援センター（市民活動情報センター、多摩ボランティアセンター）で実施した方が良く考えるものがありましたら、具体的にご記入ください。

【回答結果】

<p>* NPO法人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材研修・育成だけでなく、募集も広く定期的に行い、NPOの運営・活動に参加する市民の数をもっと増やしていただきたい。 ・活動を楽しむ工夫が必要 オジさん、オバさんがもっと楽しめる場をつくる（活動内容をお酒〈お茶〉でも飲みながらザックバランに話し合う〈報告〉機会を提供したらいいのでは ・税務と経理相談 ・たて割りでないネットワーク構築 ・NPOセンターの方が望ましい ・市内中間支援施設（NPOセンター、市民活動情報センター、ボランティアセンター）共同の企画、シンポジウムの企画と実施、年に1～2回定期的に行うのも面白いのでは？ ・様々な分野の共同お祭りのイベントの実施 一部の市民ではなく、多くの市民への発信ステーションを目指す。 ・NPOセンターよりは、ボランティアセンターの方がつながりがある。ボランティア活動をしているメンバーが多いので、他のグループと助け合っている。 ・行政・企業からの委託事業の募集などの場合、法人格取得団体の活動範囲は1市にとどまらないで、出来れば市の発注する事業の応募団体に、多摩市住民に限るなどの制限を取り除いていただけると嬉しいです。
<p>* 任意団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のNPOセンターの運営方法は、市民中心の市民による市民のためのNPO活動の場として、生かされていないので、早急に改善する必要があるように思われます。 ・NPOで事業的にも成功しているところの事例調査とその紹介 ・ノウハウではない社会的な起業の動機づけとなるような研修 ・維持・発展させていくための人のケアや共感を得られるような交流会の場の設定 ・多様化しているニーズに対して、既製のもの押し付けるのではなく、場や設備の貸出などの支援で、自発的な活動を支援することで、責任は十分遂行できるのではないのでしょうか。 ・多様で多量な市民活動（知縁・地縁）団体を有機的に結びつけるファシリテーターとしての役割と、団塊の世代などの地域デビューのためのイベント交流会の実施。他地方の市民活動の有様情報 ・中間支援センター同士の連携
<p>* ボランティア団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何か相談事がある時に、NPOセンター、市民活動情報センター、ボランティアセンター等、総てにわたる情報を集めていて、どこへ相談に行けば良いかを紹介してくれる、または、情報を与えてくれる窓口があると便利だと思う。 ・地域が必要とするこれからのボランティア活動とは何か、社会貢献といったこれまでの視点を離れ、「共助」社会としての視点で描いてみて欲しいと思います。こうした機能も期待したい。（セクショナリズムを排す!） ・市民よりアンケートをいただいて活動の参考にしていきたいと思いますので、是非実施をお願いします。 ・3センターの情報をどのセンターからでも取得・活用できると良い。 ・テニス交流への協力、但し英語ができること。
<p>* その他の団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動情報センターに、自治会活動の具体的な事業内容が告知できる情報が欲しいです。本来は自治連の仕事とは思いますが、サポート体制としてでも結構です。 ・インターンシップ受け入れ、コミュニティの問題発見、多摩市らしいムーブメントを発信すること

3. これからのNPOセンターの運営について

多摩NPOセンターは「NPO支援センター運営検討委員会」（1999年5月から2000年1月）においてNPOセンターの設置について様々な角度から検討し、「ファイナルレポート」としてまとめられた提言書を基に平成12年5月に開設しました。開設当初は、多摩NPOセンター利用団体で組織する運営協議会が主体となって運営にあたりました。また、平成17年からは企画提案による公募（いわゆるコンペ方式）により選ばれたNPO法人が運営にあたっています。

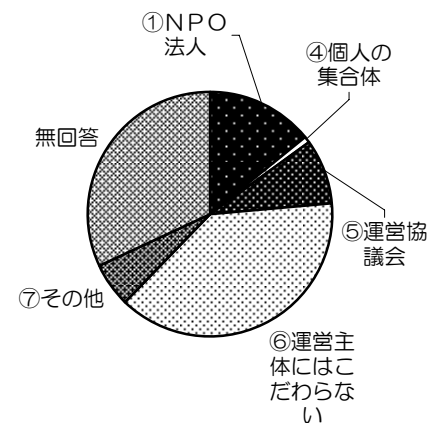
この間、多摩NPOセンターを利用する団体や利用スタイルも時代と共に変わってきました。このような中で、今後多摩NPOセンター（市民活動の中間支援を目的に活動する施設）が、より多くの市民活動団体のニーズに応じていけるよう、以下の質問にご協力ください。

【質問14】多摩NPOセンターの運営主体について、それぞれの運営によるメリット・デメリットが「ファイナルレポート」の中で下表の1～5番のように示されています。これを踏まえた時、どの運営主体がもっともふさわしいと考えますか。「運営主体及び運営方式の類型」の欄の番号に○をつけて下さい。

【一つ選んでご回答ください】

【回答結果】

回 答	回答数	回答率
①NPO法人への委託	15	14%
②任意団体への委託	0	0%
③個人への委託	0	0%
④所属する団体を代表しない個人の集合体への委託	1	1%
⑤NPO支援センターの運営に・・・（運営協議会）	9	8%
⑥内容がよければ、運営主体にはこだわらない。	41	39%
⑦その他（具体回答は以下）	6	6%
無回答	34	32%
総計	106	



【具体回答】

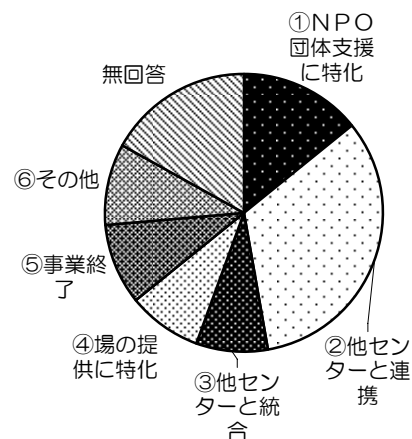
* NPO法人	<ul style="list-style-type: none"> 任意団体のNPO連合組織「多摩NPO協会」に運営をゆだねるべきだ。同会は⑤が発展したものであり、⑤②のメリットも有していると同時に⑤②のデメリットも排除している。
* 任意団体	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には運営協議会運営でよいが、協議会の自主性をもっと尊重すべき。 他の地区のやり方も参考にし、いろいろ検討すべきである。 ⑤の精神を受け継ぎ、団体を主会員とする組織が行うべきである。 ⑤をベースとして、資質や意欲のある個人も運営に参加できる組織体とする。事務局長・事務局スタッフも当然運営のメンバーの中から選んで運営にあたる。①や②では、双方向性なく存在の意義も少ない。 魅力ある「まち」の「姿」を行政も市民も市民団体も合意し、進行させるためには、多様な支援センターがあった方が良く、競争原理 NPOセンターについて良くわからないので答えられない。

【質問15】現在多摩市内には、多摩 NPO センター、市民活動情報センター、多摩ボランティアセンターなどのいわゆる市民活動の中間支援センターと、社会教育施設である関戸公民館、永山公民館、また、地域コミュニティの拠点施設として7つのコミュニティセンターが、それぞれの特色を持って運営していますが、いずれの施設も市民活動を支援する場という共通点を持っています。このような中で、今後多摩 NPO センターはどのようにあるべきと考えますか。 **【一つ選んでご回答ください】**

- ① NPO 団体の支援に、より特化した運営を望む
- ② 他の中間支援センターと連携した間口の広い運営を望む
- ③ 市民活動情報センター或いはボランティアセンターとの統合を望む
- ④ 各施設において重複する機能が多く、今後多摩 NPO センターは会議室や事務所機能など、場の提供に特化した運営を望む
- ⑤ NPO センターを設立した当初の目的は十分に果たしたので、統廃合により事業終了してもよい。
- ⑥ その他（具体的に）：

【回答結果】

回 答	回答数	回答率
①NPO団体の支援に、より特化した運営を望む	15	14%
②他の中間支援センターと連携した間口の広い運営を	35	33%
③市民活動情報センター或いはボランティア・・・	9	8%
④各施設において重複す・・・場の提供に特化した	9	8%
⑤NPOセンターを設立・・・事業終了してもよい。	10	9%
⑥その他（具体回答は以下）	10	9%
無回答	18	17%
総計	106	



【具体回答】

*** NPO法人**

- ・多摩NPOセンターは「NPO支援センター運営検討委員会」を設けたとき、稲城市在住である当団体にまで声をかけてくださいました。おかげ様で、市民活動について勉強することができました。その後、お世話になりながら、法人格を取得いたしました。取得後も運営の事、事務の事など当時の事務局の方から教えを受けて大変お世話になりありがたいことでした。その頃は、市民に限るという制限はあまり無かった様で、市民活動をしている者には等しく門戸を開いて下さっているようでした。
- ・現在、稲城市にも支援センターが出来、当団体も支援する側に席を置いておりますが、市内の市民活動をする人達の支援のみならず、将来は近隣のNPO法人の団体の支援まで情報交換のみならず稲城市も含めて、貴市に於かれましても取り組んでくださると嬉しいと思います。

*** 任意団体**

- ・実態がわからないので答えるのが難しい。再編強化した方がよいのか、それぞれが役割を担っているのだとしたら、「他の中間支援センターと連携した間口の広い運営を望む」ですが。
- ・それぞれの目的や違いをはっきりとさせてないから、個々に活動し、重複したような見方をされてしまうと、市民の目にも良くわからないと思う。
- ・NPOセンター設立当初の目的精神にもどり、中間支援センターとしての運営を望む。
- ・様々な施設がそれぞれの成り立ちの違いにより特色を持って運営されていると見受けられる。そのような形態にコストやコミュニケーションなど問題があればどこかが主体性を持って一時的に統括する必要もあろうが、当団体は不自由なく今の環境で活動しているので特に問題意識はありません。
- ・ファイナルレポート及び多摩NPOセンターは市民が提案し、自主・自律して運営されていたものである。市民の意見を聞かずして一方的に市が管理運営している現状は容認されるものでない。更にこのアンケートを市が行っているのも市民不在である。

- ・市民委員のみで構成された「NPO支援センター運営検討委員会」がまとめられた提言書「ファイナルレポート」を基に、多摩NPOセンター利用団体で組織された運営協議会で運営されてきたものを、市民の意見を聞かずして（市民委員会などを開催せずして）、市が一方的に管理運営している現状は、市民に容認されるものでない。更に今回、上記を反省せずしてこのようなアンケートを市が実施したことも、市の考えが市民不在で、市民を無視するものであろう。第4次多摩市総合計画や多摩市自治基本条例の主旨にも反する行為と考えます。
- ・市民不在のアンケート調査と考える。元々多摩NPOセンターは「ファイナルレポート」から運営管理まで市民が関わっていたものを、市が一方的に占有・管理運営を行っている現状は、第4次多摩市総合計画、多摩市自治基本条例に記されている市民主権の行政運営に反しているとも考えます。

*** ボランティア団体**

- ・多摩ボランティアセンター以外あまり良く知らないなので、答えが出難く申し訳ありません。
- ・NPOセンターがどのような活動をしているのか知る機会が無く、分かりません。ただ疲弊が生じているなら、事業終了とすべきです。
- ・実際にはあまり役立っていないように思います。
- ・ひと口に「NPO団体」といっても事業を運営している団体から無償ボランティア団体まで多様な団体があります。事業主体と無償の団体とではその性格がまったく異なり、同列に考えるには無理がありNPOセンターの理念を再考する必要があるのではと思います。
- ・設立した目的を十分に達成できたのでしたら、⑤番でよいと思う。ただ、立ち上げた団体が相談できる窓口ぐらいはどこかにあった方がよいと思う。
- ・趣味レベルで終わらないこと。社会的に貢献できる積極的企画力があること。

*** その他の団体**

- ・このまま別々でも構わないが、それぞれの施設の目的を明確にしてほしい。ただし、多摩NPOセンターは場所が悪い。中間支援センターは、市民からの交通アクセスの良いところにほしい。
- ・2008年3月に図書館本館の移転に伴って、図書館関連団体向けの団体活動室が整備されることになっています。今後NPOセンターを使う予定はありません。